

# 「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」 工事内容の検証について

2022年5月26日  
広域系統整備委員会  
コスト等検証小委員会事務局

- 第1回コスト等検証小委員会（2017.5）で示された検証の方針は以下の通り。

## 1. 調達プロセスの検証

- ① 「東京中部間連系設備における『調達に関する基本的な考え方※（以下、基本的な考え方）』」（第2回コスト等検証小委員会 資料3）に示された発注方式と整合取れているか。
- ② 原則として市場原理を確保している発注方式となっているか。  
（合理的な理由なく、競争入札以外を選択していないか等）
- ③ コスト低減の取組がなされた発注方式となっているか。

## 2. 工事内容（工事費）の検証

- ① 実施案や過去の工事实績との対比（物量に応じた工事費となっているか）。
- ② コスト低減施策を行っているか。
- ③ 実施案や過去の工事实績の概算工事に比べて増加する見通しとなった場合には、増加要因・理由や対応策。

## 3. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画の工事完了時期に対しての変化内容・理由。
- ② 工期短縮に向けた事業実施主体の取組・方策も確認。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しとなった場合には、対応策の検証。

## 1. 工事内容（工事費）の検証

- ① 過去実績に比べ遜色ないことを確認した。
- ② 現地調査結果を踏まえた鉄塔基数の削減や調査・設計業務の効率化など、**工事費全体として現時点での適正な検討が行われている。**
- ③ 昨今の物価上昇に伴う工事費変動リスクはあるものの、現時点では、実施案以下となる見通しであり、過去の工事実績の概算工事相当になる見通し。

## 2. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画策定時点の工事完了時期に対して、当初の予定工期内で可能となっており、**現時点では特に問題は無い。**
- ② 実施案通りの工程で進められており、調達プロセスのリードタイムを考慮した工程が設定されており、運開期確保に向けた検討が行われている。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しはない。

## 3. 今後に向けて

東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画のうち、東清水線新設工事の工事内容に関して提案の通り進めて頂く事となったが、

- 事業実施主体は、今回示したコスト低減への取り組みに加え、更なるコスト低減について検討を継続するとともに、その他の工事についてもコスト低減に向けた取組が行われていくことが望まれる。
- 発注手続きにあたって公平性・透明性を確保するとともに、コスト低減方策を採用した発注方式により、引き続きコスト低減に向けた取組が行われることが望まれる。